**令和７年度「ライフデザインの描き方セミナー」募集要項**

１．趣旨・目的

大阪府では、男女が持てる力を存分に発揮し、あらゆる分野で活躍できる社会の形成をめざし、様々な啓発事業を実施するなど、オール大阪で女性の活躍推進の機運醸成に努めている。

その一環として、就業前の生徒・学生を対象に「ライフデザインの描き方セミナー」を実施し、出産・育児などのライフイベントと仕事との両立や、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」といった固定的性別役割分担意識の解消について理解を深め、自分らしい「働き方・生き方」について選択できる能力を培うとともに、就業への意欲を高めてもらう。

２．実施概要

（1）対象者

府内の高等学校、支援学校（高等部）、短期大学、大学、専門学校の生徒・学生及び学校関係者（概ね40人以上）

※女性のみ、男性のみでも実施可能

（2）実施時期

令和7年10月～令和8年2月ごろ（大阪府と実施校が協議のうえ決定）

（3）プログラム例（別紙参照）

・講義（女性活躍推進、男性の家事・育児参加、ライフデザインについての現状・課題　等）

・ロールモデルによる発表（企業における取組、自身の経験　等）

・ロールモデルによるトークセッション

・ロールモデルを交えてのグループワーク

　（上記を組み合わせて実施することも可能。詳細は大阪府と実施校が協議のうえ決定）

（4）講師例

・大阪府職員

・企業で働く人（経営者、管理職、子育て中の一般社員　等）

・仕事と家庭の両立を実践している人

　（講師の職業や性別等、詳細は大阪府と実施校が協議のうえ決定する）

（5）大阪府及び実施校の役割分担

・大阪府：セミナーの企画・実施、講師派遣、アンケートの実施・集計　等

・実施校：会場の確保、生徒・学生への周知・参加者とりまとめ、当日の運営等への協力　等

３．募集・選考

（1）応募方法

応募用紙（別添様式・ホームページからもダウンロード可）に必要事項を明記のうえ、E-mail又はFaxにて下記申込先まで送付



応募用紙は、URLまたは二次元バーコードのページからダウンロードいただけます。

　　URL　http://www.pref.osaka.lg.jp/danjo/topic/design.html

（2）応募締切

令和7年5月31日（土）まで

※ただし、予定数（2校程度）に達しなかった場合は、引き続き募集

（3）選考方法・選考通知

大阪府府民文化部男女参画・府民協働課において応募内容を総合的に審査し、実施校を決定する。5月31日までの応募についての選定結果は、6月中旬ごろまでに連絡する。

【問合せ・申込先】

大阪府 府民文化部 男女参画・府民協働課 男女共同参画グループ

　E-Mail：danjo-fumin@sbox.pref.osaka.lg.jp

　電話番号：06-6210-9321　／　FAX：06-6210-9322

**【参考】令和６年度「ライフデザインの描き方セミナー」実施概要**

■大阪公立大学

日時：令和6年6月4日（火）　約90分

対象：大学生、大学院生　等

内容：解説「職場でのワーク・ライフ・バランス支援について」

（講師：大阪公立大学 女性研究者支援室 総括コーディネーター）

ロールモデルによる自己紹介（出演：企業の管理職等。男女各1人）

　　　　ロールモデルによるパネルディスカッション（出演：同上）

　参加者：47人

＜参加者の声＞

・実際の育休や会社の中での様子等を知ることができて、満足できた。

・社会や会社の制度だけでなく、家庭内コミュニケーションが重要であることにも触れていただいて面白かったです。

■四条畷学園短期大学

日時：令和6年12月11日（水）　約90分

対象：大学1年生

内容：講義「働く場における男女共同参画の現状と課題の紹介」（講師：大阪府職員）

　　　　ロールモデルによる講義（出演：企業の女性社員1人、男性社員1人）

質疑応答

　　参加者：38人

＜参加者の声＞

・男性と女性のイメージを押しつけるのではなく、お互い育児や仕事に務めることが大切だと思いました。

・将来の働き方や、人生プランを考えるのに参考になりました。

■大阪府立東淀川高等学校

日時：令和5年12月13日（水）　約100分

対象：同校2年生（保育コース選択）

内容：講義「働く場における男女共同参画の現状と課題の紹介」（講師：大阪府職員）

　　　　ロールモデルによる講義（出演：企業の女性社員１人、男性社員1人）

質疑応答

　　参加者：21人

＜参加者の声＞

・仕事と子育てが両立できて、育児に理解のある職場を選ぶことが大切だと思った。

・仕事、家庭、なにを優先すれば良いかわからなかったから、産前産後の様子を聞けてすごく参考になった。